

2021 年度事業報告

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブてとて

世の中の動きに柔軟に対応しながら「わ〜くわっく北本」の運営を継続する中で、今まで積み上げてきた地域とのつながり作りの成果を再確認し、これからの居場所の在り方を考える機会になりました。みんなで知恵を出し合いながら、前へ進んでいく喜びをあらためて感じる事が出来ました。

生活さぼーと、福祉有償運送、障害者生活サポート事業は、コロナ禍にも関わらず利用希望者・相談者が増えました。てとての福祉車両が3台に、また移送スタッフの加入もあり、多様なニーズの受け皿として丁寧なサービスを継続することができました。

今年度は生活クラブ、生活クラブ組合員と話し合いを重ね、「まちづくり構想」を作成しました。であい館（北本生活館）を地域の拠点と位置づけ、「つながりづくり」をキーワードにした地域に開かれた場を、共に作り出していくことを確認しました。

こども食堂は、一堂に集まる会は見送りましたが、定期的にフードパントリーやお弁当配布、学習支援を行いました。参加者とスタッフとが顔の見える関係になり、信頼できる居場所として認知されるようになってきました。

また、北本市の地域福祉を担う団体として、他団体との連携を積極的に進めました。

（１）地域コミュニティ事業

1. 生活クラブ生協福祉事業運営（委託事業）

わ〜くわっく北本（閉所期間 2021 年 8 月 4 日～2021 年 9 月 30 日）

サロン利用人数	410 人	936 食	親子のひろば	19 組	一時託児	0.0 時間
教室参加者	442 人				利用者総数	936 人

（サロンについて）

- ・ コロナ禍での開所の必要性をスタッフ全員で共有し、事業を継続しました。
- ・ 新しい交流の場として「お菓子作り」の集い、「Tea Time」を開始しました。
- ・ 「みんなの居酒屋」は感染症対策を徹底し、再開しました。
- ・ マイボトル持参で割引のあるテイクアウトコーヒーを始めました。
- ・ 教室などは開催しましたが、感染拡大防止の為、8月の夏祭りは中止しました。
- ・ 軒下にパラソル付きのテーブル、椅子を設置し、屋外での喫茶・休憩スペースを作りました。
- ・ 毎月、北本駅構内のポスターに「わ〜くわっく北本お知らせ」を掲示し、居場所の価値や機能を発信しました。

(食事提供について)

- ・ 週3日のランチに加え、キッズランチやハーフランチ、うどんなどの軽食を提供しました。また、利用者のニーズに応えるために、肉と魚のセレクトを始めました。
- ・ 居場所で特別な時間をゆったり過ごす場を提供するために、月1回アニバーサリーランチとして、デザート付きスペシャルランチを楽しめる企画を始めました。
- ・ テイクアウトは、環境に配慮したサトウキビ原料の紙の包材を使用しました。

(感染対策について)

- ・ 彩の国「新しい生活様式」安心宣言及び生活クラブのガイドラインに沿った感染対策を行いました。
- ・ 消毒・パーテーション・換気・加湿、利用者の人数制限をし、三密の回避に努めました。
- ・ スタッフと利用者の検温と手洗い・マスク着用を徹底しました。
- ・ 彩の国『新しい生活様式』安心宣言 飲食店+（プラス）の認証店となりました。
- ・ 彩の国『ワクチン・検査パッケージ制度』に登録しました。
- ・ 二酸化炭素濃度測定器を設置し、利用人数の多い時の目安としました。

2. 居場所関連事業

- ・ 棚貸しのルールを見直し、リニューアルしたことで、延べ25名の利用がありました。棚の手作り品を目当てにサロンが賑わうなど、新しい利用者の獲得につながりました。
- ・ サロン内と屋外にリサイクル本の貸出「みんなの本棚」を常設しました。

3. きたもとこども食堂活動報告

利用人数 3,087人（フードパントリー及びお弁当配布） 開催回数 21回

41人（みんなで勉強しよう 11回）

- ・ 一堂に会する子ども食堂の自粛を継続し、毎月フードパントリーとお弁当配布を行いました。
- ・ 県単位、全国単位のこども食堂のネットワーク組織と連携することにより、さらに地域でのつながりを持つことができ、子ども食堂を通して地域を豊かにする活動を行うことができました。
- ・ 子育て世帯全般に申し込みを受け付けていたのを改め、ひとり親・児童扶養手当受給世帯・非課税世帯・多子世帯などの条件をつけることにより、より困窮状態にある子育て世帯への支援につなげました。
- ・ 各種助成金を申請し、食材購入費用に充てました。
- ・ 「きたもとこども食堂みんなで勉強しよう」（学習支援）を月1回開催しました。参加者にお弁当の配布も行いました。

- ・ 学生や元教員の方に、地域のボランティア講師として参加いただきました。

（２）地域生活サポート事業

生活さばーと事業

サービス提供時間 636.0 時間

間

- ・ コロナ感染対策を徹底しながら、通常通りに事業を継続しました。
- ・ 過去の居場所利用者が家事援助サービスを利用するなど、長年の積み重ねと信頼関係による新たな利用の拡大が進みました。
- ・ 介護保険を利用している利用会員のケアマネージャーと連携し、より良い支援につなげました。
- ・ 介護保険を利用していない利用会員には仕組みを説明し、地域包括支援センターに通知するなど、より良い生活への手助けを行いました。

（３）地域福祉ネットワーク作り事業

1. 生活クラブたすけあい支援事業

- ・ CCSからエコロ制度、熊谷ブロックエコロコーディネートとワーカーズ利用補助制度、また生活クラブ共済「ハグくみ」の加入者に対してのサービス提供を受託し、たすけあいの仕組み作りにも参画しました。
- ・ エコロ制度の組合員同士のたすけあいが成立しない場合に、ワーカーズ利用補助制度の利用につなげる体制を作りましたが、利用には至りませんでした。
- ・ CCSの地域コミュニティ運営委員を選出し、月1回開催のCCSの運営会議に参加し、エコロ制度の課題等意見を提案しました。
- ・ 北本生活館協議会に出席し、「北本生活館まちづくり構想」の起案作りに参加しました。
- ・ 北本生活館委員会との話し合いで、居場所の役割と意義を共有しました。
- ・ 北本生活館の利用者である組合員・支部・連等と連携し、生活館の賑わいを生む活動を支援しました。

2. 北本生活館管理受託事業

- ・ 北本生活館管理業務および防火管理業務を生活クラブ生協より受託しました。
- ・ コロナ感染予防のため、生活クラブの方針に従って、利用者への連絡を行いました。
- ・ 防火訓練を2回実施しました。（両日とも消防署の来所はなし。）

1回目（5/18～6/19）

消防設備点検に合わせて業者より避難梯子の使用法を伺い、スタッフ及び利用団体への周知をしました。また、消火器等の消防設備の場所を確認しました。

2回目(11/22)

消防署より水消火器をお借りし、スタッフと荷受け組合員で、避難訓練と消火器の使い方の実践を行いました。

- ・ 生活館の清掃を各所月2回実施しました。

3. 生活クラブ組合員支援活動

- ・ 北本生活館協議会に出席し、「北本生活館まちづくり構想」の起案に参加しました。
- ・ 北本生活館委員会との話し合いで、居場所の役割と意義を共有しました。
- ・ 北本生活館の利用者である組合員・支部・連等と連携し、生活館の賑わいを生む活動を支援しました。
- ・ 生活館運営委員会主催のであいの広場で「みんなの本棚」の参加と、コーヒーの提供をしました。

4. 講師派遣・人材育成事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防によるイベントや学習会の計画がなかったため、講師の派遣はありませんでした。
- ・ 地域の福祉事業所「北本福祉の会かがやきの郷」の移送事業の立ち上げに協力しました。

5. 埼玉ワーカーズコレクティブ連合会の活動

- ・ 福祉部会・食部会・エリア会議・中間支援チームに参加し、ワーカーズ運動の促進、ワーカーズコレクティブ間の情報共有、連携に務めました。
- ・ 福祉部門の学習会「インボイス制度“を学ぶ”に参加しました。(3/22)
- ・ エリア会議ワーカーズ基礎研修は、延期されました。
- ・ 中間支援チームメンバーとして、活動に参加しました。
- ・ WNJ ワーカーズコレクティブ全国会議に参加しました。(2/19, 20)
- ・ 東京ワーカーズコレクティブ主催「みんなで運営する事業所として「労働者協同組合法を学ぶ」に参加しました。(3/19)

6. その他の活動

- ・ ホームページ、ブログ、Facebook、インスタグラム、公式LINE、駅市民活動掲示板、北本市ホームページで、活動の広報を行いました。
- ・ てとて通信を発行しました。(5月・2月)
- ・ 生活クラブ生協熊谷ブロック地域協議会(運動グループ協議会より改称)に4回出席して事業報告をし、各地域の状況を共有しました。市民ネット学習会(7/12)とワーカーズ学習会(1/15)に参加しました。
- ・ 北本市中央地域協議会に参加しました。(12/15 会場：わ〜くわっく北本)

- ・ コープみらい埼玉エリア「社会貢献活動表彰団体・助成団体オンライン交流会」に参加しました。(11/20)
- ・ 北本市社会福祉協議会の呼びかけによる北本市地域多業種ネットワーク会議にコアメンバーとして参加し、「きたもとごちやまぜの会」を3回開催しました。(7/10, 10/30, 3/19)。第2回では、てとでの活動報告をしました。
- ・ 北本市こども応援ネットワーク会議「きたもと BASE」に参加しました。(9/8, 11/11, 2/22)
- ・ 「第5回生活クラブ福祉・たすけあい研究交流集会」に参加しました。(3/22)
- ・ 『市長に社会福祉施設で働く市民の皆さんの要望を聞いていただく懇談会』をワーカーズコープと共催しました。要望書を提出し、回答を受け取りました。(11/12)
- ・ 北本市『市民公益活動パネル展』に参加しました。(1/24-1/28)
- ・ 鴻巣・北本地域障がい者基幹相談支援センター地域支援部会居宅介護Gr及び相談支援部会に参加しました(1/17)
- ・ 「よりよいきたもつをつくる交流会」をワーカーズコープと共催し、事例報告をしました。(3/12)

(4) 福祉有償運送事業

実績 サービス提供回数 124回 1,659km (回送距離含む) 登録利用者 42名

- ・ コロナ感染対策を徹底し、安全第一にサービスを提供しました。
- ・ 安全運行のため、福祉車両の点検整備を定期的に行いました。
- ・ 7月にハイバックの車椅子に対応した福祉車両を一台増車しました。
- ・ 2月に持ち込みの福祉車両を一台増車しました。
- ・ 普通自動車二種免許所持の運転手が一名増員となりました。
- ・ 新規利用会員8名契約しました。

(5) 埼玉県障害児(者)生活サポート事業

実績 サービス提供回数 455回 518.5時間

- ・ 北本市・桶川市・鴻巣市の利用登録者に対し、移送・外出援助・一時預かり・派遣サービスを提供しました。
- ・ 利用会員の障害特性を理解して、支援センター、他専門職、ケアマネと連携をとり、てとで提供できるサービスの範囲を確認しながらサービスを提供しました。
- ・ コロナ禍において、利用会員及びご家族の感染により、キャンセルが増え、利用のない期間が長引くこともありました。

(6) 総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

- ・ 総合事業には取り組めませんでした。